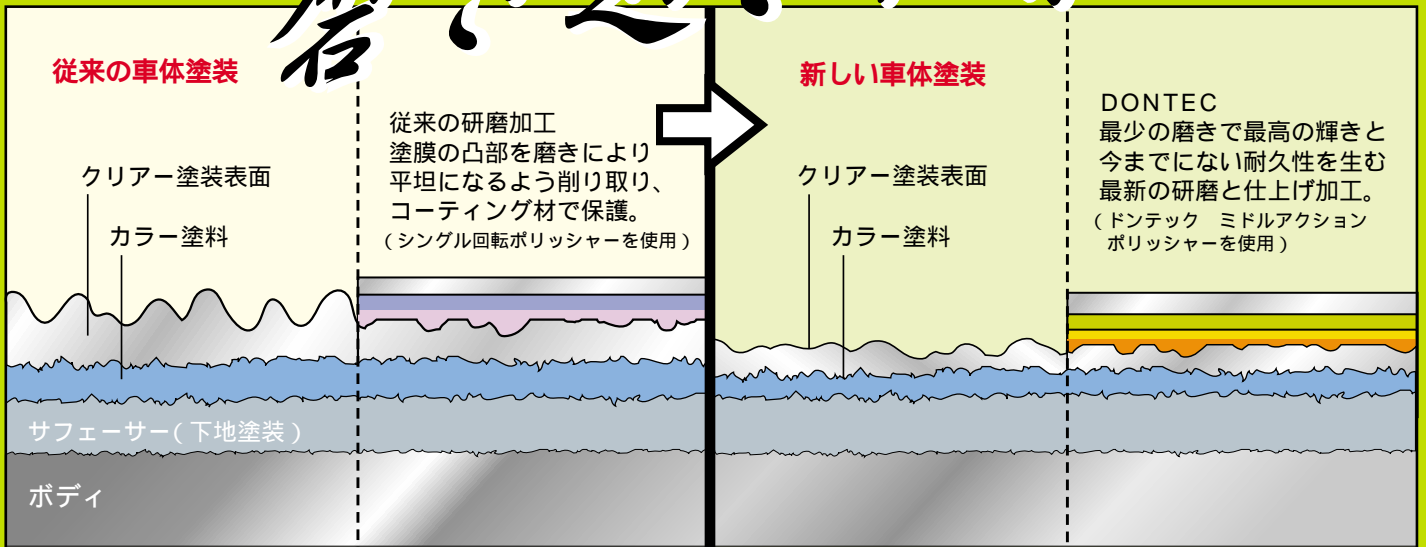
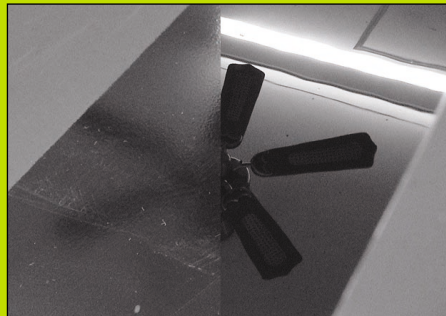
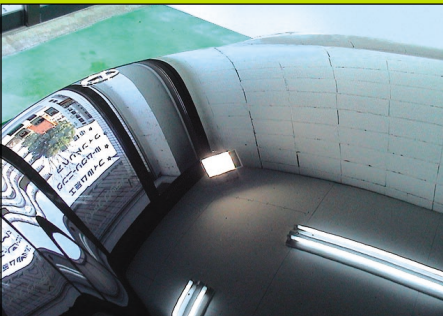


磨き過ぎは禁物!!



世界中でクルマの塗装は水性塗料に移行中!!

地球環境の問題から2005年2月16日に【京都議定書】が発効。世界中のメーカーが環境に優しく、薄い塗膜を持つ[水性塗料]へ2006年を目処に切り替え中です。この塗装は従来に比べ、磨ける範囲(クリアー部分)が半分程度に減少しているため、これからは美しい仕上がりのために塗膜を削ってはいけない時代に突入して行きます。



鏡面磨き = 黒の磨きに自信!!
硬くて薄い塗装の磨きが難しい
水性塗料を磨けるのは、
ドンテックの技術だけ。

特殊な鏡面PAD(特許出願中)で磨く
為、凸凹を無くし、ムラが出ない技術を
完成。塗装本来の輝きを引き出し、鏡の
ような映り込みを実現します。

新車から磨く時代へ
ノンポリッシュ現象の解消!!

現在、工場で作成したクルマはノンポリ
ッシュで保護シートをかけて出荷されて
います。納車時にも磨かない為、薄く膜
が張ったままの状態です。塗装が本来
持っている輝きを取り戻す為には、新車
から磨く必要があります。

ドンテック ミドルアクション
ポリッシャー【特許出願中】の発
明により 安心して、安全に、簡
単に、パフ目を付けずに 鏡面
磨きができる。

シングル回転ポリッシャーのような研
磨力があり、ダブルアクション ポリッ
シャーのような片手で手軽に磨ける全く新しい
考え方のポリッシャーです。もう、危険で、
熟練のいるシングル回転ポリッシャーを
使う必要性がなくなります。

ノンポリッシュ現象とは? 従来の有機溶剤塗料とこれからの水性塗料で作られた塗装は、多少の差はありますが、高温で焼く為、溶剤が蒸発する瞬間及び表面が冷える時、空気中の水分を吸い込み、表面に薄く膜が張った状態を言います。

新車以上の輝きと耐久性を実現する



こんなお悩み解決します。

もっと高級感のある色、艶を出したい。

黒は真っ黒く、赤は真っ赤に出来ないものか?

他の車に断然差をつけるぐらいピカピカにしたい。

大切なクルマを新車の輝きのまま永く乗りたい!



それは薄く、堅い塗膜を鏡面のように磨き上げる、最新技術。

訓練されたドンテック プロが、水銀灯を使って塗装面を照らし、キズや凸凹した部分を確認し、丁寧に取り除いたり、平らにしたりして磨き上げる技術。それがこれからの削らないで鏡面にする技術——ドンテックです。

【水性塗料】になる技術の変遷

ミクロン:μ

	1995年頃	2000年頃	2004年	2006年の予想
1 塗膜が薄くなる			*1*2	*2
高級車の下塗り	50~55 μ	30~35 μ	30~40 μ	30~40 μ
高級車の中塗り	70~75 μ	40~50 μ	35~45 μ	30~35 μ
高級車の上塗り	50~60 μ	50~55 μ	25~35 μ	20~25 μ
塗膜の厚み合計	170~190 μ	120~140 μ	90~120 μ	80~100 μ
2 塗膜が硬くなる	HB~2H	H~3H	2H~3H	3H~4H *3

*1.180 で焼くポリウレタン塗料が採用され、薄くて、硬くなり水性塗料と同じ扱い

*2.下塗りと中塗りが水性塗料になる

*3.上塗りが水性塗料になる結果

水性塗料と溶剤塗料との比較

ミクロン:μ

項 目	水性塗料	有機溶剤塗料
1 塗装の硬さ	3~4H	H~2H
2 塗装の厚さ	80~100 μ	90~120 μ
3 磨ける範囲(クリア部分)	20~25 μ	25~35 μ
4 表面焼き付け温度	200~250	130~145
5 何層	5~6層	7~8層
6 焼き付け乾燥	温風乾燥後、焼き付け	焼き付けのみ
7 原料の寿命	6ヶ月	2年
8 産業廃棄物	10%以下	100%

塗装の肌年令

自動車塗装の傷み具合を判断するのに、人間の年齢肌を想像すれば分かりやすいと考えます。その傷んだ肌を改善する為には、下記の5種類のコースを選んで処理すれば、あなたの愛車もよみがえります。

【ドンテック プロの施工コース】

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 水アカ コース | 肌年令60才台が、「磨き」で40才台に若返る |
| 2. クイック コース | 肌年令60才台が、「磨き」で30才台に若返る |
| 3. スタンダード コース | 肌年令60才台が、「磨き」で20才台に若返る |
| 4. 鏡面仕上げ コース | 肌年令60才台が、「磨き」で10才台に若返る |
| 5. 新車半年以内 コース | 肌年令20才台が、「磨き」で10才台を維持する |

ドンテック式磨き方【特許出願中】

【安心して、安全に、簡単に、バフ目を付けずに、磨ける。】

新車の時から3ヶ月に1度の徹底したメンテ管理=新車以上の輝きで、5年でも10年でも乗れる。

1) ドンテック ミドルアクション ポリッシャー【特許出願中】を開発。

シングルとダブルの合いの子と言える新しい考え方のポリッシャーです。即ち、シングルのように研削力があり、ダブルのように片手で回せる使い易さを兼ね備えた全く新しい考え方のポリッシャーです。精度の高い技術で、[曇り]を出さず、鮮明な色、ツヤを実現。

2) ハイテックPAD【特許出願中】を開発、シリーズ化。

ハイテクノロジーの繊維で作られたPADで、高い精度の鏡面磨きが実現できます。

3) ナノ粒子を配合した肌調整剤の開発。

ナノテクを駆使して作られた細かなnano-1からnano-5の肌調整剤で、深い傷を入れない方法で磨く為、精度の高い磨きが実現できます。

4) アルミ製ボンネット、トランクの磨きのノウハウを確立。

2003年から世界の高級車のほとんどをアルミ製に切り替える傾向があります。アルミは、薄くて、柔らかい為、熱に弱いのです。ドンテック式磨き方は、熱を余り出さないで磨く為、アルミには最適な方法です。

5) バフ目を最初から出さないシステムを実現。

熱を余り出さないドンテック ミドルアクション ポリッシャーと塗装の種類により最適な道具類を組み合わせるノウハウを持っています。その上、特殊なPAD(特許出願中)で磨くことでバフ目を防ぐ技術が隠されています。



The most advanced body coating system

ドンテック株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-6-17 合同ビル6F

TEL 03-5256-6080 FAX 03-5256-6858

E-mail info@dontec.co.jp http://www.dontec.co.jp